

ニュース

さよなら原発

第48号 2016. 10. 11



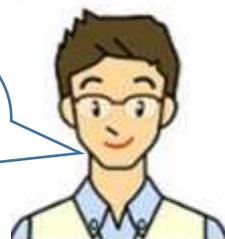
発行：さよなら原発ひたちなか市実行委員会
連絡先：茨城県ひたちなか市馬渡 2824-63 佐藤英一 (TEL:029-273-4775)
ホームページ：<http://sayonaragenppatu.wixsite.com/mysite>

東海第二原発 を動かさないで!!



安定ヨウ素剤を
もらってきたわ。
使うことにならな
きゃいいけど。

再稼働しなきゃ
使わないで
いいんだよ。



ママ：隣のご主人は、5年半も止まったままなんだから、いまさら再稼働はないだろうって言ってたわ。

パパ：再稼働は十分あり得るよ。40年という期限を超え、20年延長の認可が次々とおりにいるから、東海第二も申請準備中だと思うよ。申請時期は来年の秋で、もし申請しないと廃炉だから、原電も必死さ。

ママ：審査に合格したとしても、38年も経つ、古い原発だし、たびたび事故も起こしていたそうよ。本当に大丈夫かしら？ もしも、福島のような事故が起きたら避難なんて出来るの？

パパ：30キロ圏内に約100万人が住んでいるんだ。どう考えても無理だよ。まず、5キロ圏内の住民が優先的に逃げ、10キロ圏内の私たちは屋内退避して指示を待つんだって。自力で逃げられない人や病院・施設関係者も大変だよ。

ママ：大混乱は必至ね。避難できても今までの生活は取り戻せないでしょうし・・・
「ヒナン」でなく「クナン」が待ち受けているだけだわ。

古い「東海第二原発」は、廃炉が一番！
◇原発でできた放射能は、消滅する技術がなく、何万年も脅威です。
子どもたちに、安全な未来を
◇原発廃炉へ、廃炉技術を磨くことこそ重要です。

ニュース発行のため
の募金にご協力
をお願い致します。



～高速増殖炉「もんじゅ」廃炉へ～

政府は「もんじゅ」を廃炉にする一方で、高速炉「アストリッド」計画（フランスとの共同研究）や「常陽」（実験炉）の再稼働を打ち出し、核燃料サイクル維持の方向だ。しかし、河野太郎行政改革本部長は「再処理からも撤退」「余剰プルトニウムは軍事転用出来ないよう高レベル廃棄物と混ぜ廃棄」との方針を示し、年内には核燃料サイクルの見直しを各省庁に要求する予定。河野氏に期待したい。（裏面に関連の話題）

10/15(土)13:50～ ワークプラザ勝田 にて
講演会「核のゴミと私たち」講師：小出裕章氏
学生さんは参加費無料です。将来を考える際の「確かな知識」として聞いてみて下さい

ひたちなか市での

東海第二原発への

声 声

皆さんの声・つがや
お寄せ下さい。
TEL/FAX:029-273-4775

野生キノコ 放射能汚染は安全か？ 検査を受けては！

市内 山菜採り名人を友人にもつ男性

茨城県でとれた野生キノコには、出荷や摂取の制限がない。では、安全なのだろうか？

茨城県に接する福島県いわき市や矢祭町のものは出荷制限*され、いわき市や棚倉町のものは著しく高濃度のため摂取制限にさえなっている。栃木県大田原市や那須烏山市、益子町なども軒並み出荷制限だ。出荷制限は遠く群馬、長野、埼玉、山梨まで広がっている。

茨城県のものでも、市役所などに依頼して検査したほうが良いと思う。

* 出荷制限は野生キノコ 1kg 当たり 100 ベクレル以上のもの。

東海村内をニュース 47 号の配布中、路肩の花壇の淵に腰掛けて休んでいた私に話しかけて来た散歩中のおっちゃんとの会話。

おっちゃん：東海第二が事故起したら、おしまいダッペな。勿論、風向き次第だが、ひたちなか市も同じだ。稼働に賛成だと言ってる者で、事故が起きた時は責任取って、聞いた事ないもん。それにとれる訳がない。放射能は始末に負えないからな。

私：あの大きな東電ですら、税金頼り。(2011年3月の)事故処理にもう9兆円掛かったそうだから。

おじさん「いつもご苦労さん」 (おじさん：元原子力関係者)

私「原電は、東海第二を20年延長して再稼働する事で進めているようだけど、使用済み燃料を増やすばかりでどうするつもりでしょうかね？」

おじさん「国は『もんじゅ』をやめるようだが、青森・六ヶ所村の再処理工場の使用済み燃料プールを利用したいがために、大洗の高速炉「常陽」(実験炉)を運転再開して、核燃料サイクルを堅持すると言っている。しかし、高速増殖炉開発でも、核燃料再処理工場でも旧動燃がやって来た事は皆失敗している。

高速炉関係にしたって、施設も古くなっているし、人事差別問題(現在裁判中)を見ても解るように人材も育っていない。現実感がない。」

私「福島原発事故後、良く聞きますよ。『原子力は人材を潰して来た』と。確かに、基礎研究をないがしろにして来て、あの福島の重大事故を経験してもまだ、原発を再稼働する訳ですから・・・」

放射線測定ボランティア・正治さんが、測ってみると？



2016 10/7(金) 東茨城郡大洗町の文化センター脇の遊歩道の松の木と松の木の間、高さ 1m のところ。やはり、松の木は松葉の枝の下が高い。ここから、この遊歩道を南に辿って、松林の中、「大洗町シルバー人材センター」の脇まで歩きながら測定してみましたが、0.13~0.14 $\mu\text{Sv/h}$ (1m 高さで) でした。ちなみに、その日の測定で一番低い所は、那珂湊と大洗町の間的那珂川に掛かる「海門橋」の歩道で、0.026 $\mu\text{Sv/h}$ (高さ 1m の所) でした。橋の上はどこもその周辺より低い値となっています。

1) 単位は $\mu\text{Sv/h}$ (マイクロシーベルト毎時)。

* 「2011年の原発事故」前は 0.05~0.02 $\mu\text{Sv/h}$ 。 2) 測定器は HORIBA PA1000 Radi ; 測定者は正治。